

【学校教育目標】

『自ら考え、主体的に自己実現し、自他の存在を認め合える生徒の育成』

「主体的」・・・何に取り組むか自分で選択し、決定していくこと。

「自主的」・・・すでに決められている課題や問題に自分から取り組もうとすること。

「自他の存在」・・・自分を認めるとともに、仲間も認める。

【スローガン】『いじめを許さない、笑顔・歌声・ありがとうがあふれる学校』

目指す生徒像

<p>○心身が健康でたくましい生徒</p> <ul style="list-style-type: none"> ・きちんとした毎日の生活を大切にしている生徒 ・運動を好み、体力づくりに励む生徒 ・困難に負けず、勇気をもって乗り越える生徒 	<p>○自ら知識を求め学習に励む生徒</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自主的、計画的に学習する生徒 ・物事を良く考え、問題点を追求する生徒 ・目標達成に向けて精進のできる生徒 	<p>○自分を大事に、仲間を大事にする生徒</p> <ul style="list-style-type: none"> ・礼節を身につけ、相手の立場を考え行動する生徒 ・良書を読み、様々な見方考え方を身につける生徒
--	--	--

目指す学校像

- 美しく整い、学習の場としてふさわしい学校をつくりまします。
- けじめがあり、あいさつや歌声の響く活力のある学校をつくりまします。
- 生徒と教師が信頼し合える学校を目指します。
- 家庭・地域と学校が仲良く結び合い、共に生徒を育てる学校を目指します。

目指す教師像

- 一人一人の生徒を理解し、大事にする教師になります。
- 研究と修養に努め自らをみがき、学ぶ楽しさを伝えられる教師になります。
- 生徒の変化に気づき、協働して支援のできる教師になります。
- 校務の遂行にあたり、新しいことに挑戦する教師になります。

学校経営の重点と具体的方針

(1) 学年・学級経営の充実を図ります。

- ・優しさと厳しさを兼備し、深い愛情をもって生徒の指導にあたります。
- ・一人一人の生徒理解と、信頼関係の構築に努めます。
- ・集団活動を通して、協力や挑戦する力、仲間理解、自己理解の力の育成に努めます。
- ・朝の会、帰りの会を充実させ、生徒の士気を高めます。

(2) わかる授業、生徒が楽しみにする授業の創造に努め、一人一人の生徒に学力をつけまします。

- ・授業のねらいを重点化（学習課題を掲げ）し、教師が教えること、生徒に考えさせること、生徒が調べたり話し合ったりして解決することを明確にした授業を行います。
- ・授業の中で、生徒の言語活動を重視し、説明することやまとめる活動を充実させまします。

- ・生徒が関わり合い学び合う活動や問題解決的な学習で学ぶ楽しさや達成感を味わわせ、学習意欲を引き出します。
- ・学習課題や学習のねらいを明確にして、指導と評価の一体化を図ります。
- ・朝読書を工夫し、読書の楽しさや言葉のもつ力に気づかせ、本に親しむ生徒を育てまします。
- ・総合的な学習の時間では、教科統合の横断的な力を結集して取り組む課題解決的な学習に努めます。
- ・家庭学習の指導に力を入れ、生徒の学習習慣の確立を図ります。
- ・全職員が自身の課題を明確にし、年1回以上の授業研究を行います。
- ・少人数指導や習熟度別授業を計画的に行い、学力の向上に努めます。
- ・単元の終わりに授業評価を実施し、常に授業力の向上と授業改善に努めます。

(3)自分の良さや可能性を実感させ、自己有用感をもたせる指導をします。

- ・生徒の成長や頑張りを見逃さずに認め、教員間の情報共有をします。
- ・生徒一人一人の特性を理解し、適切に励ます指導に努めます。
- ・道徳教育の充実を図り、様々な場面を捉え生徒個々の道徳性を培います。
- ・保健体育の中に体力向上の運動を位置づけ達成感を味わう体験をさせることで、自信を積み重ねる指導をします。
- ・生徒会活動や部活動等を通して、責任感や連帯感の涵養を図ります。
- ・キャリア教育を推進し、自己実現していくために必要な意欲や態度を育成します。
- ・給食指導や保健指導等を通し、健康な心身を保つための食育教育に努めます。

(4)社会規範を守る態度を育て、地域の人に信頼される生徒を育てます。

- ・共通理解と共通指導に基づく指導体制の推進を図ります。
- ・相手の存在を認める温かいあいさつができる生徒を育てます。
- ・道徳の授業を重視し、学校生活を通して道徳的実践力を育てます。

(5)安全で安心して生活ができる環境づくりに努めます。

- ・教育相談、いじめ、セクハラ、体罰の調査を定期的に行い、相談週を充実させるとともにSCと連携し、生徒の心身の健やかな発達を促します。

- ・生徒理解に努め、様々な活動を通して、生徒と生徒、生徒と教師の好ましい人間関係を築きます。
- ・特別支援教育の体制をつくり、生徒一人一人の教育的ニーズに応じた個別指導の推進を図ります。
- ・防災訓練などの安全指導を計画的に行い、自助、共助の意識を身につけさせます。
- ・全ての教職員が、AEDとエピペンの使用、感染症対策ができるようにします。
- ・施設や学校備品の点検と校内巡回を計画的に行い、学校生活の安全を確保します。

(6)保護者や地域との連携を積極的に進め、信頼される学校づくりに努めます。

- ・学校だよりや学年だより等で、学校の様子や生徒の頑張り、課題を定期的に伝えます。
- ・関係者評価や外部評価を実施し、学校運営の状況について、家庭や地域に公表します。
- ・授業参観や行事を通して、学校公開を計画的に行います。
- ・学校評議委員会やミニ集会を開催し、地域の皆様の意見聴取に努め、学校運営に生かします。

(7)校務処理の合理的・計画的運営を図ります。

- ・組織の一員として、報告・連絡・相談を密にして校務遂行に確実に努めます。
- ・教職員の目標管理を遂行し、組織の活性化を図ります。
- ・情報管理を適切に行い、個人情報保護を徹底します。
- ・文書管理を確実に行います。
- ・公務員としての自覚をもち、責任のある行動をします。

教育活動計画

1 教育課程

(1) 編成方針

- ①新学習指導要領を考慮し、生徒及び家庭や地域の実態に基づく教育課程を編成する。
- ②学校教育目標を具現化するための教育課程を編成する。
- ③基礎・基本の定着を図り確かな学力を身につけさせるため、工夫した教育課程を編成する。

(2) 授業時数一覧

☆学習指導要領の年間標準時数

学 年	国語	社会	数学	理科	音楽	美術	保健体育	技術・家庭	英語	道徳	特別活動	総合	計
1 年	140	105	140	105	45	45	105	70	140	35	35	50	1015
2 年	140	105	105	140	35	35	105	70	140	35	35	70	1015
3 年	105	140	140	140	35	35	105	35	140	35	35	70	1015

2 研究・研修計画

(1) 研究主題 確かな学力の向上を目指した授業研究

(2) 研究目標

- ①各教科において『『思考し、表現する力』を高める実践モデルプログラム』（「見いだす」「自分で取り組む」「広げ深める」「まとめあげる」）を活用し、生徒がじっくり考える場面と教師が教え生徒にまとめさせる場面を明確に位置づけるために、発問を重視し、その成果を検証する。
- ②教科ごとに「何ができるようになるか」「何を学ぶか」「どのように学ぶか」という視点から、「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」に対する評価の研修を進め、「指導と評価の一体化」を図る。